

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施時期		
1	イオン札幌麻生店	札幌市北区北39条西4丁目320-4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.03$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.57$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
									1階から5階
									下屋
2	イオン札幌琴似店	札幌市西区琴似2条4丁目374番地4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.12$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.65$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成27年6月耐震改修済	
3	イオン東札幌店	札幌市白石区東札幌3条2丁目1番地1 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.07$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年7月耐震改修済	
4	STV中央ビル	札幌市中央区大通西1丁目11番地 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.44$ (0.25)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 平成27年1月耐震改修済	
									1階から8階
									地下
5	ガイア北42条店	札幌市東区北42条東7丁目808番地 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.12$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.64$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年2月耐震改修済	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施時期		
6	金市館ビル 1階から8階 地下1階 地下2階	札幌市中央区南2条西2丁目1番地1他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.17$ (0.60) $q = 0.58$ (1.00)	未定	未定		
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 1.94$ (1.00)	-	-	
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 2.81$ (1.00)	-	-	
7	琴似駅前ビル	札幌市西区琴似2条1丁目1他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.68$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.42$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
8	さっぽろ東急百貨店本館	札幌市中央区北4条西2丁目1番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.09$ (1.00) $C_{T} \cdot S_D = 0.48$ (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
9	札幌ナナイロ	札幌市中央区南2条西4丁目1番地3他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.449$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 令和3年1月耐震改修済	
10	札幌パルコ本館	札幌市中央区南1条西3丁目5番地1他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.43$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成24年8月耐震改修済	
11	新さっぽろアーキティサンピアザ(スーパー棟)	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目493番地20	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.31$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成27年3月耐震改修済	
12	新さっぽろアーキティサンピアザ(専門店棟)	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目493番地20	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成30年8月耐震改修済	
13	新さっぽろアーキティサンピアザ(百貨店棟) 1階から6階 地下	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目493番地20	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.16$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.27$ (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00	
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60$ (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
14	末廣ビル	札幌市豊平区平岸2条10丁目28番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{T} \cdot S_D = 0.66$ (0.30)	-	-		

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
15	ピヴォ札幌 旧館	札幌市中央区南2条西4丁目11番地4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is ₀ = 0.42 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.19 (0.26)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
16	ピヴォ札幌 新館	札幌市中央区南2条西4丁目12番地15 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is ₀ = 0.46 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.27 (0.26)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
17	丸井今井札幌本店 一条館 1階から10階 9階・10階(S造部)	札幌市中央区南1条西2丁目11番地他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Is ₀ = 1.00 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.45 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.979 平成27年11月耐震改修済
				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	Is = 0.74 (0.60) q = 1.46 (1.00)	—	—	平成27年11月耐震改修済
18	丸井今井札幌本店 大通館	札幌市中央区大通西2丁目3番地他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is ₀ = 1.12 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.49 (0.25)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.987 平成27年11月耐震改修済
19	三越本館	札幌市中央区南1条西3丁目8番地5 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is ₀ = 1.00 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.46 (0.25)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.981 平成27年11月耐震改修済
20	有限会社高桑ビル	札幌市中央区南1条西1丁目7番地3	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	Is/Is ₀ = 0.31 (1.00) C _{TU} ・S _D = 0.19 (0.26)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
21	アルシュビル	札幌市中央区南3条西4丁目12番地1	店舗	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	平成29年2月耐震改修済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。